



こやの里だより

(第11号)

令和6年 2月 1日 (木)

兵庫県立こやの里特別支援学校

校長 石川 勝己

令和5年度も早いもので、残り2カ月となりました。今回のこやの里だよりは生徒指導部の取組について紹介したいと思います。部は大きく分けて4つの係に分かれています。

スクールバス、自力通学、特別活動、生活安全の4つです。

- ・スクールバス係は、11台のスクールバスの運行について全般の業務を担っています。運転手と介助員（バス添乗員）と連携しながら安全第一で運行しています。また、放課後等デイサービス送迎車両の入校の誘導も行っています。送迎車は多いときで70台程にもなりますので、児童生徒が安全に乗車できるよう、接触事故が起こらないように細心の注意を払い誘導しています。直接学校迎えや懇談の際に来校した際、驚かれた方もいらっしゃるかと思います。長時間お待たせすることもあり、ご迷惑をおかけすることもあります。いつもスムーズな入出校にご協力いただきありがとうございます。
- ・自力通学係は、主に、スクールバス停自力通学（スクールバス停から自宅までの自力）や完全自力通学（自宅から学校までの自力）について全般の業務を担っています。通学を許可する前に観察（テスト）を実施したり、その後の総合観察や下校指導等で安全に自力通学できているかの確認や指導等を行ったりしています。毎日の下校時はピロティにて下校チェックを行い、安全に学校から出るまで見守っています。時折、突然の悪天候の中を濡れて帰ろうとする自力通学生がいます。特に自転車自力通学生は雨具等を常備するようにお願いします。スクールバス停自力通学生はスクールバスに傘を置くこともできます。また、貸出用の傘も車載していますので、ご利用の後は必ず返却するようお子様にお伝えください。
- ・特別活動係は、児童生徒会活動や部活動の取組が中心となります。学部を越えて行うこともあり、先輩・後輩としての活動や他の係との連携も行っています。コロナ禍で制限されていた活動が少しずつ緩和され、挨拶運動や選挙活動、災害時の非常食の配布等の活動の参加人数や活動場所が増えました。しかし、児童生徒数の増加により、広いスペースが確保できず一箇所に集まったの集団活動による交流ができないままになっています。新設校の経過措置で児童生徒数の変動はありますが、児童生徒会活動を通し、さらに児童生徒全員が充実した学校生活が過ごせるように係での活動を模索し続けていきます。部活動は自力通学生を基本として活動しており、複数の大会にも参加し、賞も獲得しています。
- ・生活安全係は、各種避難訓練を行うことができるように外部機関や周辺の地域住民の方への協力依頼など、学校の安全を維持できるよう調整し取り組んでいます。その他にも、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるように安全点検や修繕依頼業務等に励んでいます。

児童生徒数の増減により教師の増減も考えられますが、よりよい学校になるように生徒指導部は一丸となって盛り立ていきますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

【お知らせ】

スクールバスの新車への入れ替えについてのお知らせです。本日から9系統が新車で運行となりました。以前お伝えしていました7系統も新車に入れ替わります。交換時期は春休み中の予定です。7系統の交換が完了すれば、来年度からは本校の全車両にスクールバス置き去り防止装置が設置されることになります。